

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成22年10月15日

【四半期会計期間】 第51期第2四半期(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

【会社名】 株式会社マルヨシセンター

【英訳名】 Maruyoshi Center Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 佐竹文彰

【本店の所在の場所】 香川県高松市南新町4番地の6

【電話番号】 (087)831-9191

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部マネジャー 多田好克

【最寄りの連絡場所】 香川県高松市国分寺町国分367番地1

【電話番号】 (087)874-5514

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部マネジャー 多田好克

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第50期 第2四半期 連結累計期間	第51期 第2四半期 連結累計期間	第50期 第2四半期 連結会計期間	第51期 第2四半期 連結会計期間	第50期
会計期間	自 平成21年 3月1日 至 平成21年 8月31日	自 平成22年 3月1日 至 平成22年 8月31日	自 平成21年 6月1日 至 平成21年 8月31日	自 平成22年 6月1日 至 平成22年 8月31日	自 平成21年 3月1日 至 平成22年 2月28日
売上高 (千円)	21,927,003	20,406,480	11,041,615	10,669,832	42,216,762
経常利益 (千円)	218,358	132,460	125,111	115,575	386,852
四半期(当期)純利益 (千円)	118,611	60,076	64,399	63,055	167,505
純資産額 (千円)			2,592,375	2,635,653	2,596,482
総資産額 (千円)			21,725,034	21,406,201	21,024,604
1株当たり純資産額 (円)			309.51	316.09	311.30
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	14.14	7.20	7.68	7.56	19.98
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			11.9	12.3	12.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	48,283	62,802			721,277
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	164,438	699,867			185,955
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	48,440	375,499			940,573
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			844,864	714,554	976,120
従業員数 (名)			645	621	626

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動については、「3 関係会社の状況」に記載しております。

## 3 【関係会社の状況】

第1四半期連結会計期間において清算中でありました連結子会社(株)セラは、平成22年6月24日において清算終了しております。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成22年8月31日現在

従業員数(名)	621 (1,241)
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含む。）は（ ）内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成22年8月31日現在

従業員数(名)	580 (1,066)
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含む。）は（ ）内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 販売実績

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	
	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
青果	1,195,001	101.0
精肉	972,516	95.4
海産物	834,749	95.7
デイリー	1,827,356	95.4
惣菜	1,071,343	100.1
加工食品	3,664,244	97.1
日用雑貨	866,325	94.4
その他	133,560	87.2
小計	10,565,098	96.9
その他		
レストラン	104,734	86.3
ファストフード		0.0
小計	104,734	75.9
合計	10,669,832	96.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3 ファストフードは子会社(株)セラが営んでおりましたが、同社は平成22年2月25日をもって解散、営業を終了し、平成22年6月24日をもって清算終了しております。

#### (2) 仕入実績

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	
	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
青果	952,273	100.9
精肉	667,192	94.2
海産物	589,923	96.7
デイリー	1,196,830	95.3
惣菜	532,700	97.3
加工食品	2,960,189	94.1
日用雑貨	674,226	95.3
その他	63,177	80.8
小計	7,636,513	95.5
その他		
レストラン	36,725	91.4
ファストフード		0.0
小計	36,725	79.4
合計	7,673,239	95.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3 ファストフードは子会社(株)セラが営んでおりましたが、同社は平成22年2月25日をもって解散、営業を終了し、平成22年6月24日をもって清算終了しております。

## 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### （1）経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一昨年来の景気低迷が継続し、円高・株安等で不透明感が増す中、雇用ならびに所得環境は回復せず、先行き不安感を背景として個人消費は弱含みに推移いたしました。

スーパーマーケット業界におきましては、生活者の生活防衛意識や低価格志向により節約意識の高まりの中、7月中旬からの記録的猛暑により飲料や盛夏商品を中心に動きがよく、個人消費は季節的要因を背景に回復の兆しをみせました。ただ、引き続き業種・業態を越えた競争がさらに激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは顧客の消費動向の変化に対応すべく、顧客の低価格志向への対応だけでなく、健康とおいしさやその季節の旬の商品を訴求するとともに、競合他社にない価値を持った独自商品の展開をすすめてまいりました。

販管費等の低減においては、配送ルートの見直しや配送便の統合による物流コストの改善、家賃の引き下げ、省エネルギー機器の導入や制御システムの導入による光熱費の削減等をすすめてまいりました。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は106億69百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は1億63百万円（前年同期比19.2%減）、経常利益は1億15百万円（前年同期比7.6%減）、四半期純利益は63百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

### （2）財政状態の分析

#### （資産）

流動資産は、前四半期連結会計期間末に比べその他の流動資産が1億37百万円増加した一方、現金及び預金が1億39百万円、商品が23百万円減少したことなどにより、23百万円減少の39億18百万円となりました。

有形固定資産は前四半期連結会計期間末に比べ1億35百万円減少し、146億28百万円となりました。無形固定資産は3百万円減少し、4億8千万円となりました。その主な内訳は減価償却によるものであります。

投資その他の資産は、繰延税金資産が16百万円減少したことなどにより、前四半期連結会計期間末に比べ14百万円減少の23億78百万円となりました。

#### （負債）

負債は、前四半期連結会計期間末に比べ2億44百万円減少し、187億7千万円となりました。その主な内訳は、買掛金が4億34百万円増加した一方、長期、短期を合わせた借入金が7億6百万円減少したことなどによるものです。

#### （純資産）

純資産は、前四半期連結会計期間末に比べ67百万円増加し、26億35百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が63百万円増加したことによるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の増減については、営業活動により5億97百万円増加いたしました。投資活動により22百万円、財務活動により7億14百万円減少となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末残高は前四半期連結会計期間末に比べ1億39百万円減少し、7億14百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金の増加は、5億97百万円(前年同期比16億68百万円の増加)となりました。税金等調整前四半期純利益は1億9百万円でしたが、仕入債務が4億34百万円増加したことなどによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は、22百万円(前年同期比1億11百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出22百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における財務活動による資金の減少は、7億14百万円(前年同期比9億98百万円の減少)となりました。これは主に、長期、短期を合わせた借入金が7億6百万円減少したことによるものであります。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。

また、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,750,000
計	21,750,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成22年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成22年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,749,990	8,749,990	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	8,749,990	8,749,990		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年8月31日		8,749,990		1,077,998		813,528



(6) 【大株主の状況】

平成22年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
佐竹文彰	香川県高松市	1,624	18.56
マルヨシセンター取引先持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地1	712	8.14
マルヨシセンター従業員持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地1	539	6.17
有限会社 佐竹興産	香川県高松市一宮町910番地32	499	5.70
黒田泰弘	香川県高松市	416	4.75
株式会社 百十四銀行	香川県高松市亀井町5番地の1	413	4.72
株式会社 阿波銀行	徳島県徳島市西船場町2丁目24番地の1	386	4.41
桑原洋夫	香川県高松市	202	2.31
佐竹睦子	香川県高松市	201	2.30
株式会社 損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26番地の1	150	1.71
計		5,142	58.77

(注) 当社が保有する自己株式は、377,970株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合4.32%)であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成22年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 377,000 (相互保有株式) 普通株式 94,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,276,000	8,276	
単元未満株式	普通株式 2,990		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	8,749,990		
総株主の議決権		8,276	

(注) 1 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式970株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)の株式数欄及び議決権の数欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)が含まれております。

【自己株式等】

平成22年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社マルヨシセンター	香川県高松市南新町 4番地の6	377,000		377,000	4.31
(相互保有株式) 株式会社レックス	香川県綾歌郡綾川町 東分乙60-7	94,000		94,000	1.07
計		471,000		471,000	5.38

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	342	340	325	347	325	324
最低(円)	323	325	300	315	315	316

(注) 株価は、大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状態】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日から平成21年8月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日から平成21年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,337,554	1,146,120
売掛金	93,073	62,493
商品	2,020,046	1,937,088
繰延税金資産	78,288	82,893
その他	389,599	236,605
流動資産合計	3,918,563	3,465,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,478,891	16,407,385
減価償却累計額	9,939,160	9,773,057
建物及び構築物(純額)	6,539,730	6,634,328
機械装置及び運搬具	1,698,033	1,669,099
減価償却累計額	1,430,012	1,406,369
機械装置及び運搬具(純額)	268,021	262,730
工具、器具及び備品	2,504,689	2,511,789
減価償却累計額	2,069,509	2,064,756
工具、器具及び備品(純額)	435,179	447,033
土地	7,290,029	7,290,029
リース資産	106,293	23,046
減価償却累計額	10,641	2,203
リース資産(純額)	95,651	20,842
建設仮勘定	-	19,391
有形固定資産合計	14,628,612	14,674,354
無形固定資産		
投資その他の資産	480,545	483,519
投資有価証券	617,687	587,764
繰延税金資産	535,031	565,124
差入保証金	997,307	1,004,351
その他	228,453	244,289
投資その他の資産合計	2,378,479	2,401,529
固定資産合計	17,487,637	17,559,404
資産合計	21,406,201	21,024,604

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,208,862	3,290,362
短期借入金	4,190,000	3,683,500
1年内返済予定の長期借入金	2,728,960	3,104,373
未払法人税等	38,036	38,736
賞与引当金	117,017	124,883
ポイント引当金	37,622	37,550
その他	874,089	969,336
流動負債合計	11,194,587	11,248,741
固定負債		
長期借入金	6,503,529	6,225,516
退職給付引当金	787,228	738,113
役員退職慰労引当金	150,050	146,100
その他	135,153	69,651
固定負債合計	7,575,960	7,179,380
負債合計	18,770,548	18,428,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	945,279	910,319
自己株式	150,411	149,708
株主資本合計	2,686,394	2,652,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,407	55,655
繰延ヘッジ損益	1,334	-
評価・換算差額等合計	50,741	55,655
純資産合計	2,635,653	2,596,482
負債純資産合計	21,406,201	21,024,604

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	21,927,003	20,406,480
売上原価	16,543,675	15,388,605
売上総利益	5,383,327	5,017,874
営業収入	275,595	269,536
営業総利益	5,658,923	5,287,410
販売費及び一般管理費		
販売促進費	420,024	423,355
消耗品費	141,173	168,270
運賃	170,570	165,810
賃借料	111,570	93,147
地代家賃	475,865	462,555
修繕維持費	222,752	200,527
給料手当及び賞与	2,159,831	2,080,609
福利厚生費	264,629	262,631
賞与引当金繰入額	114,586	102,561
退職給付費用	66,319	56,011
役員退職慰労引当金繰入額	4,852	4,750
水道光熱費	482,771	450,916
減価償却費	331,626	286,657
その他	313,412	299,892
販売費及び一般管理費合計	5,279,985	5,057,695
営業利益	378,937	229,715
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,821	3,969
持分法による投資利益	12,436	15,393
補助金収入	-	27,700
その他	12,679	39,247
営業外収益合計	29,936	86,310
営業外費用		
支払利息	183,713	177,315
その他	6,802	6,250
営業外費用合計	190,515	183,566
経常利益	218,358	132,460
特別損失		
固定資産除却損	7,380	17,433
その他	123	-
特別損失合計	7,503	17,433
税金等調整前四半期純利益	210,854	115,026
法人税、住民税及び事業税	14,860	23,536
法人税等調整額	77,382	31,413
法人税等合計	92,243	54,949
四半期純利益	118,611	60,076

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	11,041,615	10,669,832
売上原価	8,348,677	8,056,949
売上総利益	2,692,937	2,612,883
営業収入	139,325	139,172
営業総利益	2,832,262	2,752,055
販売費及び一般管理費		
販売促進費	219,459	227,605
消耗品費	72,730	71,857
運賃	88,449	87,365
賃借料	55,720	44,479
地代家賃	233,568	230,122
修繕維持費	109,121	104,949
給料手当及び賞与	1,035,781	1,032,155
福利厚生費	122,863	127,015
賞与引当金繰入額	91,561	85,538
退職給付費用	30,021	28,283
役員退職慰労引当金繰入額	2,426	2,373
水道光熱費	248,536	246,362
減価償却費	166,300	143,271
その他	153,122	156,994
販売費及び一般管理費合計	2,629,663	2,588,374
営業利益	202,599	163,680
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,335	3,088
持分法による投資利益	6,894	10,282
その他	5,672	29,519
営業外収益合計	15,902	42,890
営業外費用		
支払利息	90,146	87,730
その他	3,243	3,265
営業外費用合計	93,390	90,996
経常利益	125,111	115,575
特別損失		
固定資産除却損	66	6,111
特別損失合計	66	6,111
税金等調整前四半期純利益	125,045	109,463
法人税、住民税及び事業税	7,436	17,851
法人税等調整額	53,209	28,557
法人税等合計	60,646	46,408
四半期純利益	64,399	63,055

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	210,854	115,026
減価償却費	357,735	356,605
有形固定資産除却損	96	10,350
貸倒引当金の増減額(は減少)	740	930
ポイント引当金の増減額(は減少)	1,308	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	20,409	49,114
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,852	3,950
受取利息及び受取配当金	4,821	3,969
支払利息	183,713	177,315
売上債権の増減額(は増加)	12,539	30,580
たな卸資産の増減額(は増加)	49,657	84,029
仕入債務の増減額(は減少)	343,539	81,499
未払金の増減額(は減少)	164,531	85,091
前受金の増減額(は減少)	3,386	19,899
未払消費税等の増減額(は減少)	53,813	50,384
その他	13,517	114,709
小計	267,024	282,928
利息及び配当金の受取額	3,838	4,028
利息の支払額	206,137	199,397
法人税等の支払額	16,443	24,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,283	62,802
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	233,000	613,000
定期預金の払戻による収入	153,000	160,000
有形固定資産の取得による支出	76,994	239,783
無形固定資産の取得による支出	1,404	7,388
差入保証金の差入による支出	8,620	2,691
差入保証金の回収による収入	22,068	9,735
投資有価証券の取得による支出	4,203	5,010
投資有価証券の売却及び償還による収入	264	298
その他	15,550	2,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	164,438	699,867
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	235,000	506,500
長期借入れによる収入	1,950,000	3,486,700
長期借入金の返済による支出	1,737,978	3,584,100
リース債務の返済による支出	462	8,687
配当金の支払額	24,999	24,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,440	375,499
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	164,596	261,565
現金及び現金同等物の期首残高	1,009,460	976,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	844,864	714,554



【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日至平成22年8月31日)	
連結の範囲に関する事項の変更	(1)連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間において連結子会社でありました(株)セラは、平成22年6月24日において清算終了したことにより、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しておりますが、清算終了までの財務諸表は連結しております。 (2)変更後の連結子会社の数 1社

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日至平成22年8月31日)	
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	
前第2四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「ポイント引当金の増減額」(当第2四半期連結累計期間72千円)は、金額が僅少であるため、当第2四半期連結累計期間より、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。	

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)  
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)  
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末 (平成22年2月28日)
1 保証債務等 関連会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり保証を行っております。 (株)レックス 384,930千円 また、西淡まちつくり(株)の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。 当社代表取締役 佐竹文彰 357,160千円	1 保証債務等 関連会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり保証を行っております。 (株)レックス 446,310千円 また、西淡まちつくり(株)の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。 当社代表取締役 佐竹文彰 357,160千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日至平成22年8月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年8月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年8月31日現在)
現金及び預金 1,457,864千円	現金及び預金 1,337,554千円
預入期間が3か月を超える定期預金 613,000千円	預入期間が3か月を超える定期預金 623,000千円
現金及び現金同等物 844,864千円	現金及び現金同等物 714,554千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	8,749,990

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	411,642

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月28日 定時株主総会	普通株式	25,116	3	平成22年2月28日	平成22年5月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「小売事業」の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末 (平成22年2月28日)
1株当たり純資産額 316.09円	1株当たり純資産額 311.30円

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 14.14円	1株当たり四半期純利益金額 7.20円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
四半期純利益(千円)	118,611	60,076
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	118,611	60,076
普通株式の期中平均株式数(株)	8,390,257	8,339,518

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 7.68円	1株当たり四半期純利益金額 7.56円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため、記載していません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため、記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
四半期純利益(千円)	64,399	63,055
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	64,399	63,055
普通株式の期中平均株式数(株)	8,380,784	8,338,348

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年10月7日

株式会社 マルヨシセンター  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 田 武 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 倉 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルヨシセンターの平成21年3月1日から平成22年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日から平成21年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルヨシセンター及び連結子会社の平成21年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年10月6日

株式会社 マルヨシセンター  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 田 武 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 久 保 誉 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルヨシセンターの平成22年3月1日から平成23年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルヨシセンター及び連結子会社の平成22年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。